

財源問題で二つの聖域にメスを入れます 日本共産党

ご町内のみなさん、こんにちは。日本共産党の 支部（後援会）です。ただいまより、この場所をお借りして訴えをさせていただきます。しばらくの間のご協力、よろしくお願いいたします。

みなさん。自民党と公明党の政権がひろげた貧困と格差をどう解決するのかが、国の政治をめぐるって問われています。高齢者には増税や負担増をおしつけ、若い世代にも、ワーキングプアと呼ばれる、必死に働いても収入が低く、正社員にもなれない状態をおしつけたのが、この間の、自民党と公明党の政治だったからです。

日本共産党は、政治をきりかえ、暮らしを守る政治を実現するために全力をあげます。

みなさん。暮らしを守るための社会保障の充実や、安心できる年金のためにも、財源をどうするのか この問題が、国会の論戦で、大きな争点として、うかびあがっています。

自民党は、社会保障の財源というと、すぐに消費税の増税をいいます。実際、福田内閣は消費税の増税をねらっています。しかし消費税は、わずかな年金でくらしている高齢者にもおそいかり、所得の低い人ほど負担が重くなる、社会保障の財源として一番ふさわしくないものです。

みなさん。本当に消費税の増税しか道はないのでしょうか。

日本共産党は、消費税を増税しなくても、社会保障を充実する財源ができると提案しています。そのためには、これまで自民党の政治が「聖域」にしてきた、二つの問題に、ずばりメスをいれることです。

第一は、大企業へのゆきすぎた減税をただすことです。最近九年間で、大企業はおおもうけしているのに、税金は7兆円も減税されています。年金生活の高齢者やサラリーマンに増税をおしつけながら、おおもうけの大企業に減税とは、絶対にゆるせないではありませんか。このゆきすぎた減税を、仮に半分ただすだけでも3・5兆円の財源がつくれます。ぜひ実現しようではありませんか。

第二は、年間5兆円にもなる軍事費にメスをいれることです。なかでもアメリカのいいなりになってすすめている、インド洋への自衛隊の派遣費用の1650億円をはじめ、米軍基地への思いやり予算2371億円、さらに米軍をグアムに移転する費用に三兆円もだすような予算を真っ先に削減すべきです。この聖域にメスをいれられるのは日本共産党だけです。

みなさん。国民の声で政治がうごく時代です。ぜひ日本共産党とともに、国民中心の新しい政治をつくろうではありませんか。

みなさん。日本共産党は11月16日、北海道厚生年金会館で午後6時30分より、志位委員長を迎え「これからの日本を考える」と題して講演会を行います。ぜひ、みなさんお越しください。

最後に、日本共産党が発行している「しんぶん赤旗」、毎日お宅にお届けする「日刊赤旗」が月2900円、週刊の「赤旗日曜版」は月800円です。この機会にぜひ、お読みください。

以上でこの場での日本共産党の訴えを終わります。